

理工系分野における女性の活躍促進事業【和歌山県】

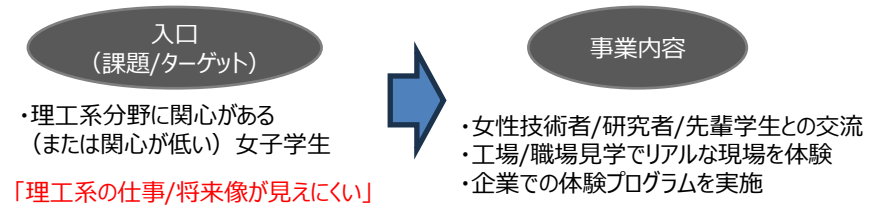
個別事業費	230 千円
交付金額	115 千円

地域の実情と課題

令和5年度「和歌山県労働条件実態調査」では、県内事業所の正社員に占める女性割合は3割を超えているものの、管理職に占める女性割合は、増加傾向とはいえ22.7%と依然として低い。産業別にみると、「製造業」「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」等の理工系分野が低い状況である。また本県においては、工場見学や科学館など、理工系を体験できる施設が少なく、関連イベントもあるものの開催頻度が少ないという実状があるため、進路を考える時期や理工系分野を身近に感じてもらう取組が必要といった課題がある。

事業の特徴

ロールモデル交流×職場見学×体験で、理工系分野への理解促進と進路選択の幅を拡大する点が特徴。



事業の効果

- 😊 女子生徒の理工系分野への関心が向上 (参加者全員が「興味を持った」と回答)
- 😊 各プログラムの満足度は平均4.5点前後 (5点満点) と高評価
- 😊 理工系分野の理解促進と進路選択に向けた意識醸成に効果
- 😊 産学連携による体験型プログラムの有効性を実証し、今後の施策展開に資する知見を獲得

目的・目標

ツアーを通じて理工系分野に興味を持ってもらうことで、将来の進学や職業選択において理工系分野に進む可能性を広げることを目的とする。

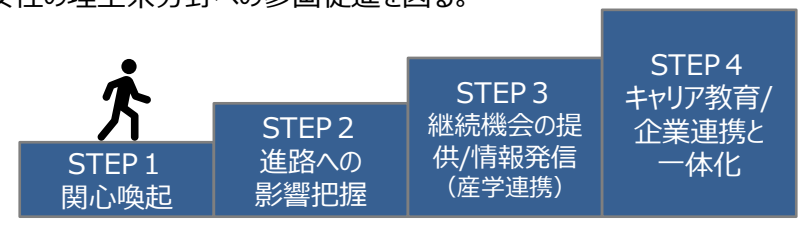
	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	ツアーを通じて理工系分野に興味を持った参加者の割合	90% (アウトカム)	100%	111%
事業KPI	ツアー参加者	30名 (アウトプット)	36名	120%

連携団体

わかやまジェンダー平等プロジェクト参加企業団体、和歌山大学、女性活躍推進賞受賞企業

今後の課題

進路選択への影響把握と継続的な機会提供及び庁内施策連携により、女性の理工系分野への参画促進を図る。



事業の概要

理工系分野における女性の活躍促進事業

理工系企業の女性技術者・研究者や理工系分野の大学等に在籍する女性学生のロールモデルと交流し、かつ職場を見学できるイベントを開催。理工系分野を身近に感じてもらうと共に、進学する分野と職業との繋がりをより理解してもらうことを目的としている。

実施概要

実施日：令和7年8月20日

対象：主に女子中高生・女子学生・保護者

参加者数：36名

(中学生14名、高校生12名、大学生1名、保護者9名)

訪問先・協力企業団体：

- (1) 和歌山大学 システム工学部
- (2) ポーラふじと台駅前店
- (3) 株式会社サイバーリンクス



和歌山大学システム工学部での学び

(大学の取組紹介・ロールモデルとの交流)

- ・教授より女子学生支援の取組について紹介
⇒令和7年度入学者選抜(令和6年度実施)「女子枠」を導入
- ・現役女子大学院生からは、理系分野を志したきっかけや、学びの中で感じた課題、やりがいについて発表



化粧品開発の世界を体験

(ポーラふじと台駅前店)

講師：ポーラふじと台駅前店グランドオーナー 中尾香那

- ・化粧品開発の裏側にある科学的視点や研究の重要性を講演
- ・スキンケア体験(洗顔料の泡立ちを科学的観点から解説)を通じた日常と理系分野とのつながりを実感



IT企業でのオフィス見学・プログラミング体験

(株式会社サイバーリンクス)

- ・会社概要の説明
- ・女性エンジニアが活躍する現場の見学実施
- ・プログラミング体験では、参加者が試行錯誤しながら課題に取り組んだ



結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	ツアーを通じて理工系分野に興味を持った参加者の割合	90% (アウトカム)	100%	111%
事業KPI	ツアー参加者	30名 (アウトプット)	36名	120%